

くら寿司は、女性トップアスリートたちも応援します

「INAC神戸レオネッサ」 スポンサー協賛

日本初の女子サッカープロリーグ「WEリーグ」が今季より開幕

回転寿司チェーン「くら寿司」を運営するくら寿司株式会社(代表取締役社長:田中邦彦、所在地:大阪府堺市)は、スポーツを通じた貢献活動の一環として、女子サッカープロリーグに所属する「INAC 神戸レオネッサ」のユニフォームスポンサーとして協賛します。



© INAC KOBE LEONESSA

日本女子サッカー界は、2011年のFIFA女子ワールドカップで「なでしこジャパン」がアジア勢の代表チームとして初の優勝を成し遂げて以来、競技人口や人気は徐々に広がりを見せています。こうした中、2021年9月12日に、日本初の女子プロサッカーリーグとして、「WEリーグ」が開幕しました。

今回、くら寿司がスポンサードする「INAC 神戸レオネッサ」は、2001年4月に神戸で誕生した関西唯一の女子クラブチームです。前身の「なでしこリーグ」時代に3度のリーグ優勝、東京2020オリンピック代表メンバーを5人擁するなど、強豪チームとして知られています。

WEリーグが掲げる「一人ひとりが輝く社会の実現・発展に貢献する」という理念と、将来の女子サッカー界を支える子どもたちや学生のロールモデルとなるINAC神戸に、同じく関西に拠点があり、ファミリー層のお客様が中心の当社が協賛することといたしました。

スポンサードの内容として、ユニフォームへの当社ロゴマーク掲載のほか、ホームスタジアムであるノエビアスタジアム神戸のビジョンでのCM放映、のぼりやポスターの掲出などを行います。

これまでも当社は、ネーミングライツを取得した「くら寿司スタジアム堺」の利活用による地域活性化や学童野球の全国大会である「くら寿司・トーナメント 学童軟式野球全国大会 ポップアスリートカップ」、大阪府の小学生サッカー大会である「くら寿司カップ 大阪府小学生サッカー選手権大会」などといったスポーツ大会への協賛をはじめ、プロスポーツにおいては、メジャーリーグやFIFAワールドカップアジア予選でのロゴ看板掲出などスポーツへの支援を行ってきました。

健康の源である「食」を扱う企業として、一人一人の健康増進を目指す中、今後も、従来の活動をはじめ、スポーツの発展や活性化に向けた取り組みを加速してまいります。

《ユニフォームデザインイメージ》



《くら寿司 スポーツ支援の取り組み》

＜小学生スポーツ大会への協賛＞

- くら寿司カップ 大阪府小学生サッカー選手権大会(2021年～)
- くら寿司・トーナメント 学童軟式野球全国大会 ポップアスリートカップ(2020年～)
- くら寿司カップ 学童軟式野球大会(2020年～)

＜プロスポーツへの協賛(一部抜粋)＞

- メジャーリーグの試合における看板掲出(2020、21年シーズン)
- 大相撲での懸賞幕掲出(2020年夏場所)
- ISU フィギュアスケートグランプリシリーズ アメリカ大会での看板掲出(2020年10月)
- FIFA ワールドカップカタール 2022 アジア2次予選 日本対モンゴル戦での看板掲出(2021年3月)